

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2020年4月13日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

一人で悩まないで 新型コロナウイルス災害 ぐらしのSOS

4月14日・18日 電話無料相談会です

暮らしが大変になっています。低賃金、失業に加え、年金や生活保護の減額も続いています。昨年10月から消費税が増税されました。解雇や長時間労働、サービス残業、パワハラなど労働法制を無視した職場も広がり、高学費や有利子の奨学金の返済も生活を脅かしています。

医療・介護保険料も高く、払えない人が増えています。また、高い医療費や介護費用のため必要な制度が利用できず、手遅れ死や介護心中なども起きています。

その上、連日の報道の通り、新型コロナウイルス感染症の影響による休校・外出自粛などで、収入が減少し、消費者・事業者を問わず、家計における生活資金が逼迫、枯渇する現象が多数生じています。

下記の日程で無料電話相談会を行います。当日は、弁護士、司法書士をはじめ生活、医療・介護、子育て・教育、労働、債務などの専門家が無料で相談に応じます。



ぐらしのSOSなんでも電話無料相談

14日(火) 10時～16時

☎ 0800-080-0058

コロナ災害を乗り越える いのちとぐらしを守る なんでも相談会 (全国いっせい・無料)

18日(土)19日(日) 10時～22時

☎ 0120-157930

*18日は札幌と函館でも電話設置

(ひんこんなくそう)

新型コロナウイルス感染予防対策を行い

北見と札幌白石区で相談会開催 コロナ災害で相談相次ぐ

4月11日、北見市内で開催された「コロナSOS緊急なんでも相談会」(13時30分～19時)には、労連、民商、生健会など5団体が参加し、21人の相談者が訪れ、電話相談が3件ありました。

スポーツジムの経営者は「**コロナ感染症による売上減少で従業員の給与と支払いが困難に。雇用調整助成金の申請を試みたが、申請内容が複雑で厳しい**」と語り、簡易な手続きで得られる制度を求めました。また、ラーメン店の店主は「今のところは大きな影響はないが、この状態が続けば売上が減少すれば資金繰りが困難になる」と、融資の説明を希望しました。事業の固定費などの支払いについての相談が多く、「**政府が公表している、個人に30万円、事業者に100万円の給付は、どのようにすればもらえるのか**」との相談も寄せられました。



4月12日は、札幌市白石区内で、「SOSしろいし生活なんでも相談会」(10時～14時)が行われました。4人の相談者が訪れ文書相談が1人、相談内容は生活福祉1、医療介護2、法律6、子育て1、住まい1、合計11件でした。

(事例) 鉄くずなどを回収し売買するMさんはコロナの影響で鉄の買い取り相場が暴落した影響を受け収入がゼロに。また、先月検査した病院で腎臓がんを宣告され、14日入院予定。医療費と生活費について全くメドがなく途方に暮れている。

白石相談会の事務局長は「直接コロナ被害の事例は多くありませんでしたが、相談の背景には見え隠れしています。今後より多くの方に顕在化する可能性をしめす相談会でした」と話し相談活動の必要性を強調します。